

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校
令和元年11月28日
第39号

火災の避難訓練（予告なし）を実施

11月27日（水）、児童に予告せず、昼休みから掃除時間にかけて火災の避難訓練を実施しました。冬は空気が乾燥して寒い日が続きます。火を使う機会も多くなって火災の危険も増すことから、この時期に避難訓練を実施しました。ただし、今回は予告なし。普段ならば、授業中に行って担任の指示に従ってクラス単位で避難する機会が多いのですが、今回は自分で判断して行動しなければならないケースでした。放送をよく聞いて、火元から遠ざかるように避難経路を判断する、そして、「お・は・し・も・て」に従って決められた運動場の避難場所まで避難する。休憩時間や掃除時間には各自がばらばらで様々な箇所にいるため、指示を仰がないで、自分でできればOKです。

この日の結果は、放送から集合まで1分53秒。どの児童も黙ってあわてずに上手に避難することができました。訓練の時だけでなく、自分の命を自分で守るために日頃から練習しておいてほしいことを、集合後、児童に話しました。

学校長の話

冬になると空気が乾燥します。空気が乾燥すると物が燃えやすくなります。さらに、冬場は寒くて火をよく使うので、火災が多くなります。自分の命を自分で守るために、避難訓練の時だけでなく、日頃から練習しておいてほしいことを2つお話しします。

1つ目は、『先生のお話をよく聞く』ことです。今日の場合、放送でのお話でした。放送をよく聞いていない人は、指示や火元などを聞き漏らし、正しい判断ができない場合があります。先生のお話は目と耳と心でしっかり聞く習慣を付けておきましょう。

2つ目は、『落ち着いて行動する』ことです。日頃からそわそわ、いらいらしていると、非常時にはさらに慌ててしまいます。慌てていると階段でつまずいたり、友達にぶつかったりして、火災以外の原因でけがをしてしまいます。

この2つは、避難訓練の時しか練習できないわけではありません。授業中や休憩時間でも繰り返し練習することができます。2つのことに日頃から気を付けて自分の命は自分で守ることができる【本物の力】を身に付けてください。



避難開始の放送で次々に集まってくる子どもたち。避難経路はまちまちです。

学校長の話真剣に聞く子どもたち。早速「先生の話をよく聞く」を実践しています。



園児と一緒に遊ぼうデー

毎回、遊ぼうデー（幼小の連携によるピア・サポート）には、維新幼稚園から園児がやって来て一緒に楽しく遊んでいます。この日（11月27日業間休み）は、しっぽ取りをして遊びました。園児にとっては小学生はみんな上級生。あれこれと園児の世話をしながらの遊びで、上級生としての自覚とリーダーシップが芽生えています。

